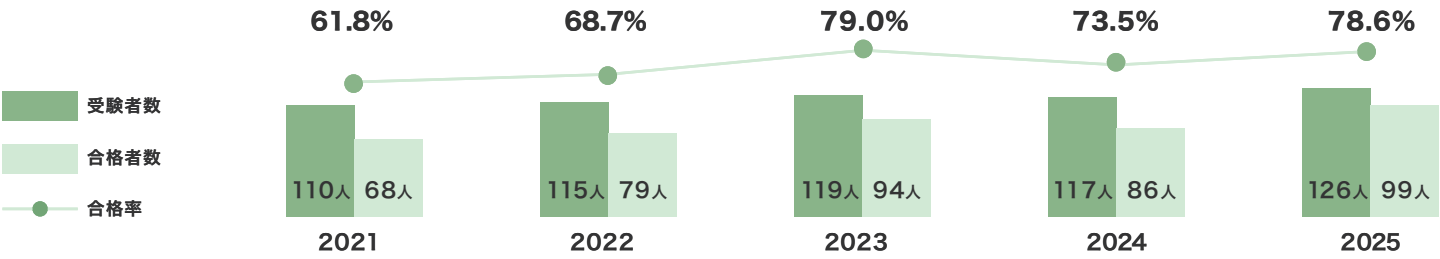


教員就職実績

共同教育学部4年生の教員採用試験の校種別合格状況(2025年度実施 他県・私学含む)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
受験者	62	45	11	8	126
合格者	53	35	4	7	99
合格率	85.5%	77.8%	36.4%	87.5%	78.6%

共同教育学部4年生の教員採用試験の合格の推移(他県・私学含む)



共同教育学部で取得可能な免許一覧

課 程	系	分野	小学校一種	中学校一種	高等学校一種	特別支援学校一種	幼稚園一種
学校教育教員養成課程	教育人間科学	教 育	◎	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○	○
		教 育 心 理	◎	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○	○
		特別支援教育	○	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○(※)	○
	人文社会	国 語	◎	◎国語	○国語	○	○
		社 会	◎	◎社会	○地歴・公民	○	○
		英 語	◎	◎英語	○英語	○	○
	自然科学	数 学	◎	◎数学	◎数学	○	○
		理 科	◎	◎理科	◎理科	○	○
		技 術	◎	◎技術	○工業	○	○
	芸術・生活・健康	音 楽	◎	◎音楽	◎音楽	○	○
		美 術	◎	◎美術	○美術・工芸	○	○
		保 健 体 育	◎	◎保健体育	◎保健体育	○	○
		家 政	◎	◎家庭	○家庭	○	○

◎…卒業要件で取得が可能な免許種
○…卒業要件に加え、必要な科目(実習を含む)の単位を習得することで取得可能な免許種
※卒業要件で「視覚障害者、知的障害者、肢体不自由者または病弱者(身体虚弱者を含む)」の4領域の免許取得が可能です。
さらに必要な科目を修得することで、5領域全ての免許取得が可能になります。

令和9年度の入学者選抜について

系	分野	一般選抜(前期日程)					総合型選抜A(一般)					学校推薦型選抜	
		共通テスト	個別学力検査等				講義レポート作成 ※1	小論文	基礎能力試験	面接	グループディスカッション実技	面接	小論文
教育人間科学	教 育						×	×	×	○	※3		
	教 育 心 理	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×		
	特別支援教育						○	×	×	○	×		
人文社会	国 語						○	×	×	○	×		
	社 会	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×		
	英 語						○	○	×	○	×		
自然科学	数 学						×	○	○	○	×	○	○
	理 科	○	×	○	○	×	○	×	×	○※2	×		
	技 術						○	×	×	○	×		
芸術・生活・健康	音 楽				×	○	×	×	×	○	※4		
	美 術				×	○	×	×	×	○	※4		
	保 健 体 育	○	×	○	×	○	○	×	×	○※2	×		
	家 政				○	×	×	×	×	○※2	×		

入学者選抜についての詳細は、令和9年度 入学者選抜要項(2026.7月公表)にて確認してください。
※1 教育に関する今日的課題についての講義動画を視聴し、講義内容の要点と与えられた課題に関するレポートを作成する。
※2 個人面接の時間内でプレゼンテーションも行う。 ※3 グループディスカッションを行う ※4 実技試験を行う

2026年7月発行
宇都宮大学共同教育学部広報委員会

国立大学法人
宇都宮大学 共同教育学部

学部案内2027



国立大学法人 宇都宮大学共同教育学部
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

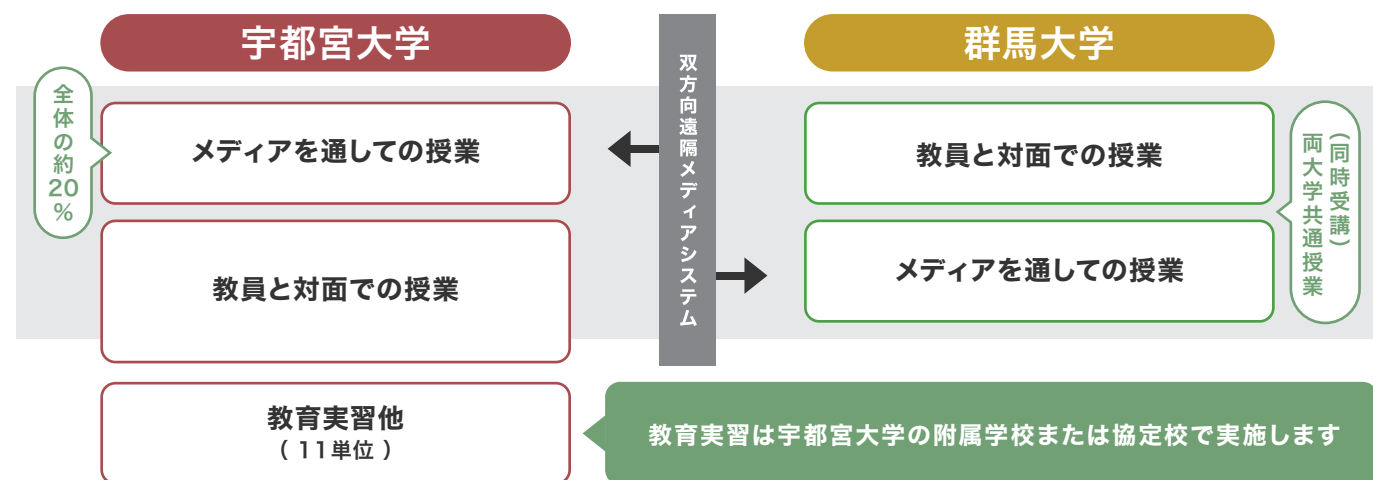
TEL 028-649-5242
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp>

国立大学法人
宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY



共同教育学部ってこんなところ

本学部は学校教育教員養成課程であり、4系13分野で構成されています。一部の授業は双方向遠隔メディアシステムを使って群馬大学と共同で行います。小・中・高等学校及び特別支援学校、幼稚園の教員免許を取得するためのプログラムを備えており、小学校一種免許状、所属分野の教科を主とした中学校・高等学校一種免許状、及び特別支援学校1種の教員免許状を取得可能です。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。



「専門分野」「分野混合クラス」での学び

専門分野 13分野のいずれかに所属

各分野の教員によるきめ細やかな指導

専門分野について深い知識が得られます。

卒業研究の際には指導教員から個別指導を受けられます。

専門的な指導と豊富な実習体験

専門科目の授業や附属学校園での教育実習では同じ分野の学生と切磋琢磨しながら学びます。

分野混合クラス 12クラスのいずれかに所属

担任教員が学生生活をサポート

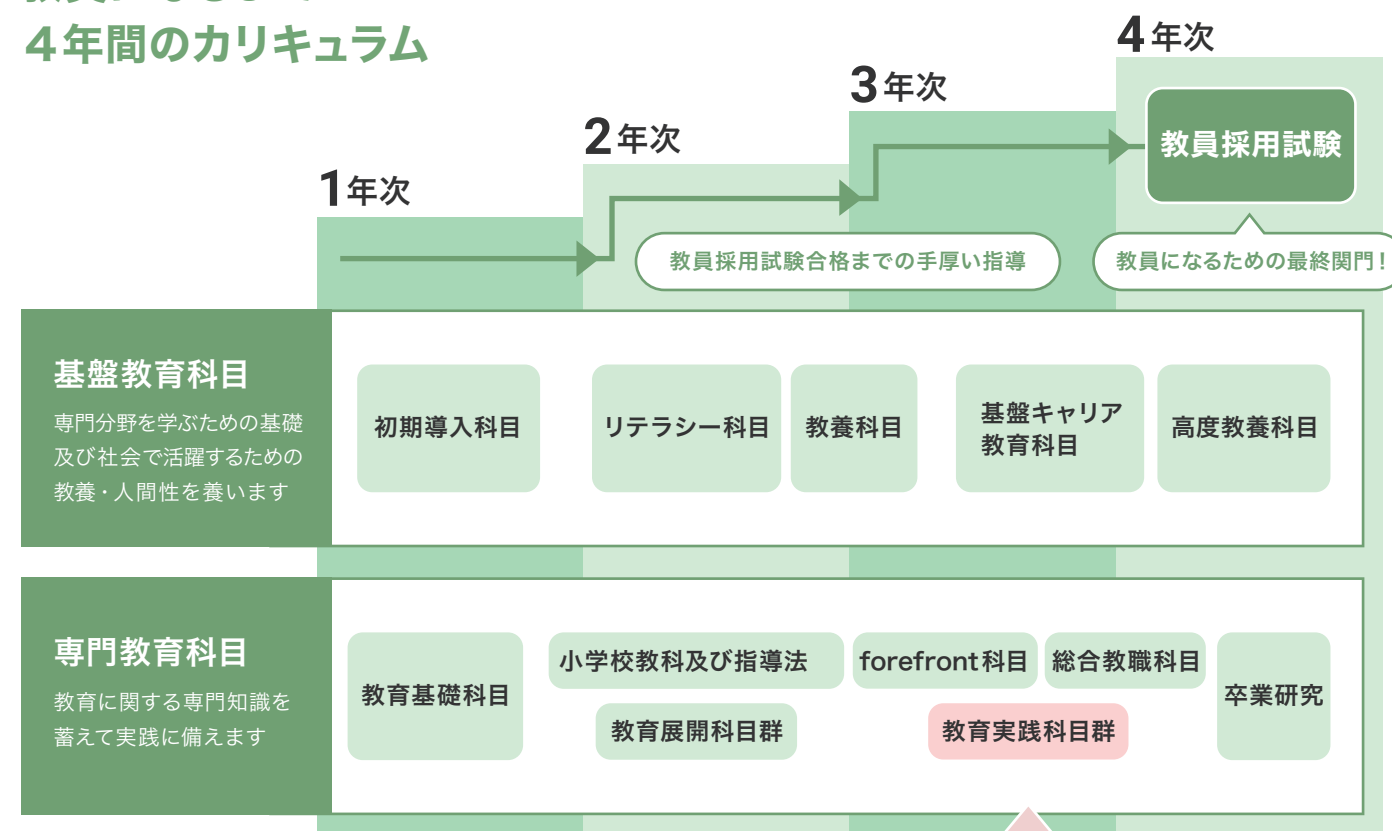
クラスごとに付く担任教員により、4年間を通じた指導を受けられます。

他の分野の学生たちと学ぶ

様々な分野の学生と一緒に授業を受け、グループ活動を行うなど、より多くの人との交流を通して、社会性を育みます。

※群馬大学の学生との合同の活動もあります。

教員になるまで 4年間のカリキュラム



教育実践科目群

教職ボランティア入門	教育実習Ⅰ・Ⅱ	教育実習Ⅲ	教職実践科目
小学校で授業や生活指導（給食・清掃）のお手伝いをし、「学校で働く」体験をします。	附属学校園で3週間の実習を行います。実際に生徒の前で授業をします。	公立小学校・中学校で実習を行い、教育現場の理解を深めます。	これまでの学びの集大成として、模擬授業を行います。

+ 特別支援学校教育実習（特別支援学校免許取得希望者のみ）

就職支援室

就職支援室では、常時、進路・教員採用試験に関する相談を受け付けています。県内の学校の校長経験者が親身にアドバイスします。

就職支援室でできること

ベテラン教員による以下の指導を受けることができます。

- 教員採用試験願書チェック
- 論文の指導
- 個人面接・集団討論・模擬授業の練習



共同教育学部学校教育教員養成課程のアドミッションポリシーには、Iプログラムの概要、II教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性、III求める学生像、入学選抜の基本方針及び入試による評価を記載しています。

大学ホームページよりご覧いただけます。 <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/policy.php>



教育分野

教育のあり方を原理的・総合的に学習します。教育の理念と歴史、学校教育の理念と制度、学校の管理運営、教育の目的・内容・方法の原理、道徳教育、シティズンシップ教育、幼児教育などが主な学習分野です。加えて、中学校教科について、学生の希望に応じてどれか一つの教科の免許を取得するための学習をします。卒業後は、教育学的知見を生かした学校教員になることを目指しています。

教育心理分野

教育に関する諸課題を心理学の知見から追究します。発達や学習、社会、臨床が主たる学習領域です。また、実証的研究を行うためそれに対応する統計学や研究法などの研究スキルも学びます。意欲ある人には臨床系の実習や演習もあります。加えて、中学校教科について、どれか一つの教科の免許を取得するための学習をします。卒業後は、教育心理学的知見を生かした学校教員になることを目指しています。

特別支援教育分野

障害のある幼児・児童・生徒の発達と心理および教育を学び研究することで、個に応じた教育の方法を探求します。卒業要件を満たすことで、小または中学校、特別支援学校（知的・肢体不自由・病弱・視覚障害の4領域）の教員免許状が取得できます。さらに必要な科目を履修することで特別支援学校5領域、幼稚園・高等学校の教員免許状も取得できます。卒業後は、特別支援教育的知見を生かした学校教員になることを目指しています。



INTERVIEW

学生インタビュー
教育人間科学系 特別支援教育分野 3年生

松岡 ゆきのさん



教育分野・
教育心理分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



Q この学部を選んだ理由

小学生の頃に読んだ本をきっかけに、誰も置いていかない教師を目指すようになりました。その実現に必要な特別支援教育を幅広く学び、5領域の免許取得を目指す宇都宮大学へ進学。小学校教員免許や興味のある教科の免許も取得できる点に魅力を感じました。

Q この学部に入ってよかったこと

宇都宮大学では、群馬大学との共同教育学部ならではの環境で、両大学の特別支援教育の専門家から学ぶことができます。疑似体験活動を通して障害のある方の立場への理解を深め、多様な視点を身に付けました。さらに、小学校でのボランティア経験を通して教師という仕事への理解も深まりました。

Q 大学に入って成長したこと

大学では、先生方の「今の経験が将来につながる」という言葉を受け、積極的に行動する力が身に付きました。高校生への講演や1年間の手話講座への参加など、新しいことに挑戦する中で、自分の視野や考え方が広がり、大きく成長できたと感じています。

Q 高校生へのメッセージ

特別支援学校の教員を目指す皆さん、宇都宮大学には専門性の高い学びや、親身に支えてくれる先生方、同じ夢に向かって努力する仲間たちがいます。多くの経験を通して自分自身も成長できる環境です。ぜひ宇都宮大学で特別支援教育を学び、夢の実現に向けて一緒に頑張りましょう。



ある日のキャンパスライフ

- 7:30 起床
- 8:20 通学
- 8:40 授業
- 12:00 昼食
- 12:40 授業
- 15:00 課題・勉強
- 18:00 部活
- 21:00 帰宅
- 21:30 夕食
- 23:00 勉強
- 24:00 自由時間
- 24:30 就寝



国語分野

国語分野では、日本語学・日本文学・漢文学・国語科教育の専門科目を幅広く履修し、小学校・中学校・高等学校の国語科の教員に必要な、知識・技能・態度を身につけることができます。4年次には、専門分野に応じたゼミに所属し、卒業論文の制作を行います。また、文学散歩や卒論発表会など、学年とゼミの枠を超えて、教員と学生が交流する国語分野全体の行事も充実しています。総合的国語力の育成をめざすのが国語分野です。

社会分野

社会分野は教育方法や関連専門学問の研究方法を身につけた学校教員を育てることを目的としています。社会科で、児童・生徒は、哲学・歴史学・地理学・社会学・法律学などの方法論に準じた、ねばりづよい、簡単に割り切らない学習をするようになります。その際、教師に必要なのが専門学問の研究の経験です。社会分野では、学習指導に必要な経験を社会科教育や専門学問の講義・演習・実習を通して、学生自らが学ぶ指導を行っています。

英語分野

英語分野では、英語学・英語文学・英語教育学を学び、小・中・高で英語を教えるのに必要な専門性を身につけることができます。英語分野の授業では、学生同士が協力し合い、切磋琢磨しながら和気あいあいと学習に励んでいます。3年次から4年次にかけて、自身の希望する指導教員のもとで研究テーマを決め、卒業論文の作成に励みます。卒業生は主として小・中・高の教員として活躍しています。



INTERVIEW

学生インタビュー
人文社会系 社会分野 3年生
水井 教喜さん



国語分野・英語分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



Q この学部を選んだ理由

栃木県で教員になるという夢を実現するため、この学部への進学を決めました。栃木県教員採用試験の高い合格実績や充実した試験対策に加え、幼稚園から高校まで幅広い教員免許を取得できる点に魅力を感じました。また、オープンキャンパスで感じた教授陣や先輩方との距離の近さや温かな雰囲気も進学を決め手となりました。

Q この学部に入ってよかったこと

共同教育学部の魅力は、宇都宮大学と群馬大学の両方の授業を受けられることです。通常は一つの大学の授業のみを履修しますが、共同教育学部では両大学の専門性を生かした学びが可能です。宇都宮大学に専門の教員がいない分野でも、群馬大学の専門家から直接学ぶことができ、より高度で専門的な知識を身に付けられます。

Q 大学に入って成長したこと

大学での学びを通して、物事を多角的に捉えられるようになったことが大きな成長だと感じています。共同教育学部では幅広い分野を学ぶことができ、多様な「ものの見方・考え方」を身に付けられます。その学びを通して、一つの視点にとらわれず、物事を批判的かつ論理的に考える力が養われました。

Q 高校生へのメッセージ

受験勉強に励む高校生活は、時に苦しく感じることもあると思います。そんな時は、「なぜ自分は教員を目指すのか」を改めて考えてみてください。その答えは、努力を続ける大きな力になるはずです。教員になりたいという思いを大切に、自分の夢に向かって進んでください。皆さんと一緒に学べる日を楽しみにしています。



ある日のキャンパスライフ

- 6:45 起床・朝食・身支度
- 7:40 通学
- 8:40 授業
- 11:50 昼食
- 12:40 授業
- 17:30 帰宅
- 18:10 夕食
- 18:30 自由時間
- 19:20 アルバイト
- 22:20 帰宅・入浴等
- 23:00 自由時間
- 25:00 就寝



数学分野

数学分野では、算数指導に強い小学校教員や中学校・高校の数学教員をめざします。3年次までは教員として必要な算数・数学の教科の特性に基づいた指導内容・指導方法に関する知識や、学問としての数学の専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究の作成を通して数学や数学教育学についての専門性を高めていきます。

理科分野

理科分野では、小学校教員や中学校・高校の理科教員をめざします。3年次までは教員として必要な理科の専門知識、教育者として必要な教科特性に基づいた専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究を通して物理・化学・生物・地学や理科教育学についての専門性を高めていきます。

技術分野

技術分野では、中学校教員だけでなく小学校教員や工業高等学校教員をめざします。3年次までは、技術教育を構成する情報工学、加工学、電気工学、機械工学、栽培学等の専門知識、教育者として必要な教科特性に基づいた専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究を通して専門性を高めていきます。



INTERVIEW

学生インタビュー
自然科学系 理科分野 4年生
安宅 勝美さん



数学分野・技術分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



Q この学部を選んだ理由

中3の時、友達に化学を教えていて、当時の理科の先生から教えるの上手だねと言われたことがきっかけです。宇大は共同教育学部で幅広く学べそうだなと思ったこと、一般入試の二次試験が小論文、面接だったことが学部を選んだ大きな理由です。大学の立地が良く、実家からのアクセスが良いのも決め手の一つでした。

Q この学部に入ってよかったこと

教育学部は自分の将来を考えて学部を選んだ人が多いので将来像が似てたり、興味や着眼点を肯定してくれる人が多いように感じます。同じ進路を目指す友達と話すのがとても楽しいです。

Q 大学に入って成長したこと

自立して生活していく中で金銭、時間に対する意識はだいぶ変わりました。自分の生活を把握して、優先順位をつける力がとても付いたと感じています。また、大学では自分だけでは判断や行動ができない、わからないような事が増えたので、周りの友達や大人に頼ることの重要性がわかり、行動力も身に付いたと感じています。



ある日のキャンパスライフ

- 8:00 起床・お弁当作り・身支度
- 8:30 通学
- 8:40 授業(空きコマに課題)
- 11:50 昼食
- 12:40 授業(空きコマに課題)
- 18:00 サークル
- 20:00 帰宅・夕食
- 21:00 課題・お風呂等
- 23:00 自由時間
- 25:00 就寝



音楽分野

本分野の理念は、教育者としての幅広い知識・教養・能力を身につけること、音楽の専門についての研鑽を積むこと、の2点に集約されます。専門科目は音楽教育、作曲、音楽学、声楽、器楽などの領域からなり、主に2年次までは基礎的な学びを、3～4年次には発展的な研究を進めます。そして、卒業研究を成して修了します。

美術分野

美術全般の基礎的素養と美術教育の専門能力の育成を目指し、実技と理論の体系的教育を行います。2年次までに美術各領域の導入を、3年次からはそれらを発展的に学び、学生の希望により絵画・デザイン・工芸・美術理論・美術教育から選択して卒業研究に向け専門性の向上に着手します。また、野外写生宿泊、古美術研究旅行、作品展、ワークショップなどの諸活動、学生企画の諸行事等を通して充実した4年間で過ごすことができます。

保健体育分野

近年の保健体育・スポーツ分野における研究の発展はめざましいものがあり、教育の場ではそうした知見を活かした指導が求められています。本分野は、小学校教員としての資質・能力を獲得するとともに、中学校および高等学校の保健体育科教員に必要な指導力を習得するため、教科指導の基盤となる学問・技能をさらに深く学修し研究します。

家政分野

家政分野では、家庭経営、衣生活、食生活、住生活、保育、消費・環境、家庭科教育等の講義、実験、実習、セミナー、卒論の専門教育により、小学校、中学校、高等学校の家庭科の教員を養成することを目的としています。生活者の視点から生活を総合的にとらえ、持続可能な社会の構築、生活の質的向上、人類の福祉に貢献する担い手づくりに資する教員を目指したい人を歓迎します。

INTERVIEW

学生インタビュー
芸術・生活・健康系 音楽分野 2年生

進藤 誓矢さん



保健体育分野・
美術分野・家政分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



Q この学部を選んだ理由

将来は音楽の教員になりたかったということと私がチューバという楽器を吹いていたため、音楽教員とチューバの両方を学ぶことのできる宇都宮大学共同教育学部の音楽分野を志望しました。また、地元から離れて新しい環境で生活して自分自身を成長させたいという思いもありました。

Q この学部に入ってよかったこと

沢山の素敵な仲間や先生方に恵まれたことです。楽しい時や大変な時に喜びや苦しみを分かち合える仲間がいること、自分に真摯に向き合って指導してくださる先生方には感謝してもしきれません。

Q 大学に入って成長したこと

自分自身で授業・アルバイト・サークルを決めるため、スケジュール管理をする力・自分を律する力をつけることができました。また、今まで以上に多様な人たちと接する機会が多くなったため、様々な人と話すコミュニケーション力や礼儀作法も身についたと感じています。

Q 高校生へのメッセージ

大学は自分の学びたいことや、やりたいこと・社会に出たときに大切なことをたくさん学ぶことができる最高の場所です。しかし、何かを待ってはいけません。自分からチャンスを掴んでいく必要があります。自分から行動する積極性を高校生のうちに身につけましょう。



ある日のキャンパスライフ

- 7:00 起床
- 8:40 授業
- 12:00 昼食
- 12:40 授業
- 14:30 アルバイト(学童)
- 18:00 サークル(オーケストラ)
- 21:00 帰宅
- 24:00 就寝